

「いつでも どこでも 誰とでも」を合言葉に!

彩の国ペタンク通信



2023.02.11

No.80

発行所 埼玉県ペタンク・ブール連盟

企画・編集 広報部

連絡先 048-572-1885 (森)

メー ル petamori1885@gmail.com



三郷レディース & ダンレディースペタンク大会

三郷公園多目的広場で開催され、レディース13組、ダンレディース15組の精鋭28組が集まり開催された。

男女別の予選、決勝トーナメント戦、男女ミックスのふれあい大会と各所で白熱したゲームが展開され、久々に会うことが出来た会員と喜びを分かち合つことができました。

長期にわたる「コロナ禍」と世界的に世情の不安定な中にあるこの本大会は、まさにペタンク仲間との親睦と健康な体力に感謝すべき貴重な大会となった。



■レディースの部

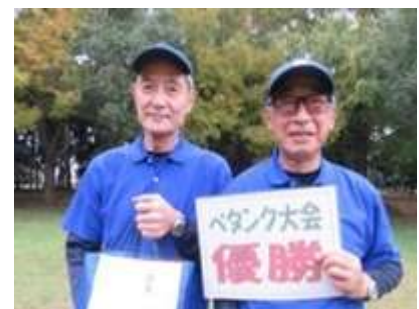


★3位★
松村慶子 藤田慶子(船橋市)

★2位★
広橋慈子 岩屋ひとみ(上尾市)

★優勝★
塚野恵理 佐藤正江(江東区)

■ダンレディースの部



★3位★
永野和彦 中村好男(千葉県)

★2位★
村田俊宏 ブラソシアイスマエル(東京都)

★優勝★
前川智英 塚野彰(江東区)

第十六回江南オープンペタング大会

令和4年11月6日(日)第16回江南オープンペタング大会が3年ぶりに熊谷市江南総合グラウンドで開かれ59組が参加して行われた。



会場となった江南グラウンドでは、木々の紅葉が真つ盛りとなり、素晴らしい光景の中でのペタング大会となった。



〈優勝〉 片柳STM
佐東眞悟 佐々木久子 森輝雄

秋の収穫祭 片柳ペタング交流会

令和4年11月16日(水)坂戸市民総合運動公園第一多目的広場で毎年恒例となった「秋の収穫祭・片柳



〈3位〉 かいじ
小澤一男 小澤洋子 小澤恵梨奈



〈2位〉 深川WEST-A
塚野彰 塚野恵理 前川智栄

ペタング交流大会」が開かれ、大会の目玉は地元仲間達が作った野菜、キウイフルーツ、みかん、大根、白菜などの賞品がいただける事であった。



■各ブロック一位チーム

- Aブロック 高野環、鈴木香、浅見正
- Bブロック 大久保まち子、石川太津男、野村広
- Cブロック 齊藤タエ子、水野修、西谷武
- Dブロック 池田好子、嶋田寿男、田中敏夫
- Eブロック 齊藤和子、水戸部忠平、河野孝
- Fブロック 佐々木久子、山名富喜
- Gブロック 小林久子、鈴木正一

秩父市でペタング教室

11月24日荒川中学校48名、26日南小学校120名、12月8日荒川東小学校20名を県連盟指導部及び秩父市連盟理事の皆さんによってペタング教室が開催された。



指導の様子が11月27日(日)読売新聞の朝刊に掲載された。

生徒たちは良いプレーに対して「ビーン」「トレビーン」など声を掛け合いながらパタノクを楽しんでいた。読売新聞記事より引用)



中心となった秩父市パタノク連盟指導部長の黒沢さんに話を聞かせてもらった。

今回の講習対象者は、小学1年生から中学2年生で講習時間は、平均1時間でポイントを①基本動作の繰り返し練習(ボールの握り方投げ方、サークル内の姿勢)②ボールをたくさん投げさせる(パタノクの楽しさ教える)の2点に絞りました。最初は超緊張して黙っている児童生徒が多く、自分が初心者になった気持ちで丁寧に声掛けをしながら、教えていくことを心掛けました。目標に向かってボールを寄せる練習では、成功する度に「やった」「すい

い」といった言葉が飛び交い、笑顔も見られ、楽しさが芽生えて来た感じだ。「やって良かった」と心の中で叫びました。

初めての小中学校での講習会で、手探りの中での一歩でしたが、「成功」だと思っています。

各学校の先生から「また、講習会をお願いしたい」との好評の言葉を頂き、私は「感謝・感激」の気持ちでいっぱいでした。

第十六回川本夫婦杯パタノク大会

深谷市菅沼の川本おまつり広場で11月23日(祝日)第16回川本夫婦杯パタノク大会が開かれ48組のペアが参加して盛大にパタノク大会が行われた。



開会式では深谷市の小島市長の挨拶をいただき、終了後には井上県連盟会長との写真も撮影されていた。

しかし、当日は朝から雨が降り、気温も下がり気味になってきて、予選リーグは通常に行われたが、午後の順位トーナメントは1メーヌのみの勝負となった。



決勝トーナメントの結果

1位グループ

- 1位 塚野彰、恵理 江東区)
- 2位 眞田吉英、由美子 岩手県)
- 3位 川端進、芳子 越生町)
- 4位 黒澤邦夫、英子 秩父市)

※2位グループ以下は一位のみ

2位グループ

- 1位 高橋イスマエル、美和 東京)

3位グループ

- 1位 羽石清一、和子 柏市)

4位グループ

- 1位 David Svensson 松本千佳 (東京)

パタノクは心身の笑顔と健康夫婦で楽しむ楽しパタノク

コバトン交流パタノク大会

深谷市川本おまつり広場で12月18日、寒風が吹き荒れる中36人が参加し「コバトン交流パタノク大会」が開催された。



秩父連盟のジュニア選手7名も参加されシニア選手と組んでパタノクを楽しんでいた。

各ブロック1、2位

- [A] 1位 亀田シメ子、上條幸助
- 2位 塩田邦彦、浅見恒夫
- [B] 1位 大笠集一、高鳥宣正
- 2位 井上勇司、水野修
- [C] 1位 岩屋ひとみ、河部耕喜
- 2位 今井幸治、柳澤恵子



ねんりんピックかながわ大会総括

森 信介

ねんりんピックかながわ2022大会に埼玉県から2チームが参加。両チームとも1勝2敗で予選リーグ3位となり決勝には進むことができませんでした。

対戦チームのポワントウルによるピタットにピタッと寄せる技術の高さに力尽き完敗。試合では残念な結果でしたが、全国の同年代の選手と一緒に会える場に参加できたことの喜びが何よりもの魅力と感じました。

参加選手からの一言

「私たちが向き合っているパタノクとちよつと違っていろいろを感じた(森え)。「ねんりんピックは年輪を重ねて参加する大会に感じた(今泉)。「健康観察の報告が大変で3人にはお世話になりました。4人でパタノクができうれしかった(柳澤)。「さいたま市も、まだまだパタノクを頑張っているよ(高崎)選手の皆様さん、お疲れさまでした。」



チーム畠山重忠
森え、今泉、柳澤、森し



さいたま市パタノク連盟
高崎、大久保、綿貴

Pick Up!

パタノク探訪 No.8



今回の訪問先は、上尾市を練習拠点として活動しているさくらパタノククラブです。

さくらパタノククラブは今年で創立10周年を迎えたとの情報をいただきましたので、上尾市さくら公園で練習をしている野田会長にお会いして話を伺ってきました。



さくらパタノククラブ

上尾パタノク連盟より独立して早や10年となろうとしています。現在部員は20名で、地元の「向山いきいき会」と「さくらパタノククラブ」で構成されています。

練習は月、水、木、金、土曜の午前9時より11時30分、自分の好きな練習場で平均週4日参加する人が多いですが年齢層が高くなって困っています。主な練習場所を紹介します。

① さくら公園

会発祥地です。皆様良く来られるゆりが丘公園へは、徒歩5分に位置する住宅地の中にあり、春には桜の美しい公園で、親子連れのスーパーマンもよく来ます。グラウンドはやや小砂利いりですが、まあ良いほうだと思います。

② もみじ公園

さくら公園より徒歩7分の位置です。隣に歴史ある稲荷神社があり、大木に囲まれています。夏場はこの下で練習ができ、静かなところですが、筆者の好む公園です。グラウンドは砂層でボールは素直に運び、スコアの良いところですが。私達は、向山いきいき会との関連から、公園の草取り、グラウンドの塩カリまき、試合前の清掃、グラウンド整備等、不満なくやっています。

2022年10月19日(水)には、10周年記念として大会主催で上尾市連を交え大会を実施しました。

③ ならのき公園

もみじ公園より徒歩6分の所です。こじんまりしています。3か所とも住宅地の中のため大声ナシ、地元への挨拶はきちとするように注意しています。



“前進あるのみ!!で行こう”

取材 水野修広報部員